

令和2年12月21日

# 1 年学年通信 No.9

石川県立金沢辰巳丘高等学校  
第1学年

寒さが増し、生徒たちもコートやマフラーを身に着けるようになってきました。また、寒い中、放課後遅くまで勉学に励む姿も見られています。

思い起こせば、この2020年は記憶に残る一年でした。学校休校から始まり、マスク着用と三密を避けた日々。そのような中、惜しめない応援を送った球技大会、クラス全員で取り組んだ文化祭ステージ発表、そして2学期最後には学年全員で行ったじゃんけん大会…。それぞれの行事を精一杯取り組もうとするお子様の姿がありました。1年前は中学生だったお子様も、あと数か月すれば高校2年生となります。保護者の皆様におかれましては、お子様の今年の課題を見つけ、来年どのような一年にしていきたいか一緒に考えていただけたらと思います。

## 【私たちにできること】

寒さが増し乾燥する冬季はウィルスの安定性と伝播力を高め、ヒトの免疫力を弱めるので感染症にかかりやすくなります。日頃から気をつけた行動を心がけましょう。

- ① こまめな手洗い (帰宅後や食事前などに正しい方法で洗う)
- ② マスクを着用する (正しいマスクのつけ方で着用をする)
- ③ 顔を触らない (無意識に触ってしまわない)
- ④ 物の貸し借りをしない



## 【世界のお正月】

日本ではおせち料理などを食べながら年末年始をゆっくと過ごす風習があります。今回は世界各国の風習をお伝えします。

### ★アメリカ★

お正月は1月1日だけが休日。11月下旬からクリスマスあたりまでが日本の年末年始に似た雰囲気となる。クリスマスが終われば通常の過ごし方となる。

### ★フランス★

お正月に食べるのは「ガレットデロワ」。アーモンドクリームを使い、中に「フェーブ」と呼ばれる小さな人形をしのばせるのが特徴的。



### ★タイ・ミャンマー★

仏暦で4月ころ正月を迎える。「水かけ祭り」が有名。

### ★イタリア★

豚の足の皮に挽き肉や脂身を詰めた「ザンポーネ」、腸詰の「コテキーノ」、「レティックエ」というレンズ豆の煮込み料理がお正月料理。



ザンポーネ

### ★スペイン★

午前0時の鐘と同時に、12粒のブドウを食べる。鐘が12回なる間に12粒のブドウを食べ終わると幸運を招き、願いがかなうといわれている。

## 今後の予定（1・2月）

1/1	金	元旦 生徒登校禁止	2/1	月	課題研究発表会②プレゼン
1/2	土	生徒登校禁止	2/2	火	
1/3	日	生徒登校禁止	2/3	水	
1/4	月		2/4	木	第2回いじめ・携帯アンケート
1/5	火	生徒 14:30 完全下校	2/5	金	
1/6	水		2/6	土	希望者補習
1/7	木	始業式・特別清掃・スタディプログラム	2/7	日	
1/8	金		2/8	月	学年末試験時間割発表・推薦入試準備 (14:30 完全下校、校地内立入禁止)
1/9	土	新春がんばろう会	2/9	火	推薦入学 ※生徒校舎内立入禁止
1/10	日		2/10	水	
1/11	月	成人の日	2/11	木	建国記念の日
1/12	火	授業参観週間(～22日)	2/12	金	
1/13	水		2/13	土	保護者対象進路説明会
1/14	木		2/14	日	
1/15	金		2/15	月	朝学・遅刻防止強化週間
1/16	土		2/16	火	
1/17	日		2/17	水	モップ交換②
1/18	月	エコ活動調査(～22日)	2/18	木	
1/19	火		2/19	金	
1/20	水		2/20	土	試験対策講座
1/21	木	進路希望調査③・学校評価アンケート②	2/21	日	
1/22	金	第3回英語検定(希望者)	2/22	月	学年末試験①
1/23	土	進研総合学力テスト(記述)等	2/23	火	
1/24	日		2/24	水	学年末試験②
1/25	月	課題研究発表会①プレゼン	2/25	木	学年末試験③
1/26	火	芸術コース美術展(～31日)(21美)	2/26	金	学年末試験④・卒業式準備
1/27	水		2/27	土	
1/28	木	漢字検定(LH)	2/28	日	
1/29	金		3/1	月	卒業式予行(予定)
1/30	土	希望者補習・全国高校生中国語発表会 音楽専攻卒業演奏会 (金沢21世紀美術館シアター21)	3/2	火	卒業式(予定)
1/31	日		3/3	水	

### 【カラリと生きよう】

- ① 今朝も同じクラスの仲間。幸せだ。「おはよう」
- ② ご飯を食べる。ありがたいな。「いただきます」
- ③ 一日終わった。また明日！「おやすみ」

### 【心に残る名言】

人を信じよ。しかし、その百倍も自らを信じよ。時によっては、信じきっていた人々に裏切られる事もある。そんな時、自分自身が強い盾であり、味方であることが、絶望を克服できる唯一の道なのだ。

手塚治虫